

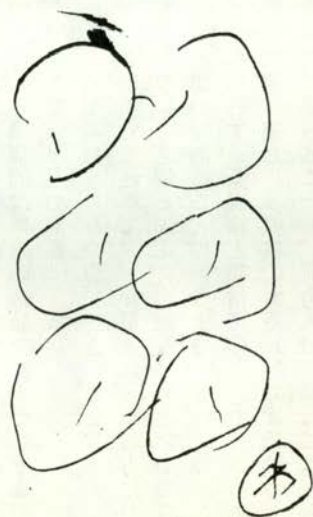
□ 随 想 □

元町に 想う

竹馬準之助

え・津高和一

「竹馬はん、三丁目(元町)で生れたのは二人だけでっせ、会えば必ず口に出されるのはこの言葉。先年亡くなられた森本倉庫前社長の森本元造さんまさか二人だけではないが、それほど元町生れの人には少なくなったことは本当である。かつて兵庫の繁栄を奪った元町も戦後はある意味で大きく変った。じっと目を瞑って戦前の元町通りを思い浮べると老舗が軒を並べ、しかもそれぞれの店の主人が元町人ではとんど占められていた当時がまざまざと蘇ってきてなつかしさを覚える。元町も昔は三丁目が中心で店舗も一番多く、しかも比較的裕福な店が揃っていたと思われる。例えば生田神社の春秋の初穂料も先づ三丁目が筆頭で金額も一番多かったようだ。それが戦後一、二丁目を経て三宮やセーター街へと、その中心が移行しつつあるように思う。ことにさんちかタウンの実現によってその傾向が強くなっている今日である。



神戸は戦前、元町通りと異色のトア・ロードが代表的な商店街であっただけにひとしお一抹の寂しさを感じるのは私ばかりではないと思う。歌の文句ではないが、なつかしいすずらん灯はもちろん神戸のトップバッターであった。これらをいろいろ思い浮かべながらその理由を考える時、その最たるものの一つは三宮駅の移転ではなからうか。今の元町駅が以前三宮駅であったことは神戸人ならご承知のはず。神戸駅から見れば貧弱であったが全国的にまた外人にもよく知られた三宮駅であった。半高架式の駅で以前は貨物の引込線があり子供時代にはよく構内で遊んだものである。また、駅の東に神戸で唯一つの鉄道ガードがあって、それが低く狭くちようど穴倉のような感じのするものだった。誰いうともなく穴門と呼び今の穴門筋の名が出来たものと思われる。そのいづれもなつかしい思い出。新三宮駅の出現によって

ようやく変貌しはじめたのだが、元町人は今日の三宮駅付近の繁栄など恐らく夢想だにしなかったのではなからうか。只、今の元町駅を残してほしいの一念で猛運動をした。その念願になって鉄道省としては当時駅区間最短の元町駅の存続を見たのである。したがって今の三宮駅の名称はむしろ場所としては、二宮駅というべきが正しいかも知れない。三宮駅の名称の根拠は私としては知るよしもないが当時西の新開地と並び称せられた三宮神社境内の歓楽街が大きく市民に反映していたものと想像された。今の三宮神社は往年の三宮神社にくらべて本当の一握りの境内に昔をしのぶ何ものもない静かな存在である。

この東の歓楽街と西の新開地をつなぐ元町通りしかも三宮駅を持つ元町通りはまさに神戸の中心街として君臨できたのは当然といえるだろう。

前にちょっと述べたように昔は元町の店主は元町人であった。街を愛し初代、二代と老舗が継承され、みんなが一族のようで、団結心も強く、和気あいあいの中に商いのできた、まことによき時代の続いた街であった。不幸にも戦火のため街は廃墟と化しここに大きな変革時代を迎えたのである。

話は前後するが、元来元町生れの子供は神戸幼稚園から、当時雲中とともに小学校の名門といわれた神戸小学校に上るのがしきたりであったが、しかしその神戸小学校は今日生徒が年々に減っていく。これは大都市中心部の小学校の全国的な傾向であるが、この学校も同様の運命にさらされているのである。これも我々卒業生としてまことに寂しい限りである。

私の母親からよく聞かされた話であるが、高潮が来ると元町通りに波が押し寄せた時代からみれば、今日の発展よりは隔世の感があるが、時代の推移には逆らえない。かつて神戸一といわれた兵庫柳原がその地位を花隈福原に譲り、今またその業者が昔日のおもかげなく、衰退の一途をたどっている。とくに元町に関係の深い花隈は大衆に所詮縁無きとき存在として、ようようその命脈を保っているに過ぎない。

さて話は変わるが元町と生田神社は昔から縁が深い。ただ単に、氏子という関係だけでなくそれ以上のものがあつたのである。戦後国の手を離れた神社が氏子の社として再建復興したのである。その復興よりはまことに目覚ましいものがあつた。戦後という新しい時代に入って予想外に協力されたのが、三宮町、元町通りその他従来の関係各町以外に宮元町といわれる神社周辺の人々たちであつた。ここいらに戦前戦後のはっきりしたちがいが出て来たのである。

今日神社を中心とした一大歓楽郷の出現は地元の人々の飛躍的な努力の結晶であつたことは疑うべくもない事実である。

以上あれやこれや思いつきのまま、まとまりのないことを述べて来たが最後に元町の方にお願したい。老舗と固定客の強みは何といつても元町が第一であることはいうまでもない。しかし新時代に処する新規格と新構想のもとで、さらに一般大衆に親しめる風格のある元町の建設に最大のご努力あらんことを、元町人の口にしてはならないことをいささか申しましたが元町を愛するゆえ、ご寛容のほどを。

△竹馬産業KK社長▽

□随想□

マンヂャーレ

石阪春生 （絵と文）



ローマの夏の午後はいへんな日ざしになる。家々はみなブラインドをしめきって、光をたつ。そのためか家の中は比較的すずしくなる。厚いレンガの壁の中で、一時から四時まで午睡する。空気がかんそうしているせいかな、さわやかなすずしさとブドウ酒で眠りやすい。

おちついた下宿屋は映画に出てくるようなアミの中のエレベーターが階段の中央に通っている三階目の家だ。ばあさんと兄妹が二人、他に下宿人が二人と我々だ。ばあさんが通りまでにこやかにむかえてくれた。荷物とともにいまにもこわれそうなエレベーターに招じ入れてくれた。ギーギー

エレベーターが上る。だがこのエレベーター、10リラの銀貨を入れなくては上へあがらないから愉快である。まったくの十九世紀だ。食事は、昼は一時、晩は八時半だ。ばあさんの手料理でやはりスパゲティだ。大きな皿に山もりもってくれる。

底の方は油でつかっている。彼等はそこへまた山もりのチーズをかけて、その油がなくなるまでかきまぜる。つまりチーズがその油をすってさばさばになるわけだ。そして食べるという。私のテーブルの隣りに座るのは下宿をしているアンナというシシリヤ島生れの美容師、向いはロザリオという青年、この家の長男である。彼等はおしゃべ

りをしながらスパゲティをたくみに食べる。手まねで私にスパゲティの食べかたを教えてください。イタリア語のイの字もしらぬ私はどうしようもない。しかたなく、私はとっておきのイタリア語で隣りに座っているアンナに話しかけた。

「モルト ペロ」(あなたはたいへん美しい)

日本語では大変な直接用語である。ところが彼女すずしい顔をして、

「グラーチェ」(有難う) とかえってきた。

私は面くらった、私は彼女がもっと照れるものとばかり思っていたからである。

そこで、またその夜の食卓で、私はまた彼女に「モルト ペロ」とやった。が、やはりかえってきた言葉は「グラーチェ」である。まったくの感覚の違いだ。

手まねやメモをかいいたりして、彼女の年令が二十才で、近所の美容院ヘシシリヤからきていることがわかった。栗毛色の長髪、どちらかといえば小がらの可愛い美人だ。やっと画をかかしてくれることだけは約束してくれた。

そうして、やっとスパゲティを食べおえたのはよかったが、ばあさんはとくい顔で大きなピフテキをやいてきたのである。つまりあの山もりのスパゲティはスープ同様のあつかいであるのだ。ばあさんは盛んにマンチャール、マンチャール(食いな、食いな!)と呼ぶ。私の胃袋はもはや満タンである。だが、ばあさん盛んにイタリア語をまくしたてながら、マンチャール、マンチャールとやる。英語もなにもまったく通じないから立派である。胃弱な私、なんとか食っては見たが残ってしまった。

彼等とは見るとペロリとすずしい顔をしているばあさんは気嫌がよくない。このマンチャールは私のローマの生活でいちばんまいった。毎回スパゲティと肉料理である。調理はいろいろしてくるが、いつも同じでせめてくる。そのひつこさを彼等はどんどんマンチャールするのである。いままさらながら、日本のディテールとバラエティーに郷愁を感じはじめる。あとできいたがイタリアのこのタント、タント、マンチャールは有名なことらしい。

そうしてはじまった私のローマの暮しは、すべてがそのタント、タント、マンチャールにむすびつきはじめた。たとえばバチカンの美術館を見た時である。その大建築物に入るにおよんで先づぎつしりと彫刻のある螺旋道路からはじまる。これらを見物人は五階くらいまでぞろぞろ上げられる。次々と現れる大壁画、そして、からくさ文様のレリーフ、キリストをマンチャールして、ミケランジェロの大壁画のある有名な大聖堂をようやくにおおぎ見る。イタリアの土の色をしたこの大画面はどこまでも、どこまでも大巨匠の筆で動いて行く、エネルギーの違い、人類の違いが私におそいかかってくる。つまり絵画をこえた彼等の暮しであり、食べものであり、血であると思った。この油っこいチーズの臭いがきつい西洋、私が思っていた西洋よりずっと西洋であったのだ。とたんに下宿のばあさんのタント、タント、マンチャールの声がきこえてくるような気がしてきた。ヨーロッパの彼等だつて巨匠たちの造った文化をマンチャールしすぎてどうにもならないのではないかと考えた。

旗の街

十河 巖

〈随筆家〉

安政条約で開港した神戸港の居留地時代には、駐留する各国外交機関や船会社、貿易商社などが永代借地権の上にあぐらをかき、治外法権を笠にきて、ずい分威張り散らしたものらしい。

居留地には各国の領事館の窓から国旗を路上につきだし、国威を誇るかのように汐風になびかせた。また汽船のマストの国旗のゆくところ国威の拡張であるとはかりに、神戸港に錨を投じた外国汽船はそれぞれの国旗をマストにかかげて、これまた国威の競争をやっているかのようにだった。

だが旗、旗、旗の中に見あたらぬのは地もと日本の日の丸の旗だけであった。ところが明治四十一年に神戸沖で日露戦役戦捷記念の大観艦式が行われて、日本軍艦百五十艘がマスト高く海軍旗をかかげて、二列に整列、ズドンズドンと百一発の皇礼砲をぶっぱなした時の神戸市民の喜びやうというものはそれこそ大変なものだった。永い間の旗のコンプレックスを解消したからであろう。

これがきっかけとなり、神戸に海運業者が軒を張って、しだいに発展し、諸外国の汽船会社に至って日本の海運業も自社の社旗を社屋の窓から外国流につき出して威勢を張るようになった。

いまだに神戸の京町辺一帯だけはいわゆる「旗

の街で」各国外交機関の国旗や汽船海運業者の旗が浜風になびき、ほかの都市では見られない情景を呈している。

生田警察南角のビルにかかげられた斜めに「田」という字を肉太に書いた旗などは、時代が感じられるのみか、いかにも日本人らしく、田村商会の創業者田村新吉さんの気骨のほどがしのばれて愉快である。その社旗を見ると、なんとなく昔の馬印が想像されるのだ。

馬印とは昔の戦場で、大将が自分の位置を示したものです。こぶる威勢のいいものである。徳川家康は軍扇で、太閤秀吉はお馴染みの千成びょうたんである。大将の一族郎党が生きるか死ぬか、名を成すか、没落するかの別れ途の大切な刹那の示威だから、威勢を張るのも無理はない。

景況のさかんなことを誇示するためにはいつの世にも旗が必要だった。海外を旅行していて、いちばん国旗をさかんなびかせているのはフランスである。別に国家的機関でも、なんでもない建物に三色旗がひらめいている。それが一つや二つではない。ひとつの建物の数あるピナクルの尖頭には必らず三色旗が立っているのだ。

また東ベルリンに入ることがあるが赤の旗が

林立している建物があった。よく見るとレストランだった。飲食店労働組合のストライキかなと思つたら、とんでもない思いちがい、ピヤホールの景気づけに国旗の赤旗を飾っているのだった。国にしる法人にしる、景況がよくて、活気さかなな時には主として旗をたてたがるものである。では人間個人ではどうだろう。

個人でもやはり同じことだ。むろんそれは会社や団体、公的機関に所属する個人である。

まず大学生だが考え方が高等になったのか、あるいはあまり学校騒動をおこすので気がひけるのか、近ごろは校章のついた学生帽はあまりかぶらないようになった。その代りカブトに代った。それも手軽なプラスチックのヘルメットである。よくテレビなどに出てくる、全学連の学生デモの画面に映るが、学生はみんなヘルメットをかぶっている。昔の陣笠に似たところもある。そのヘルメットの横脇にちゃんと大学の名と自分の名前をはっきり書いたのを見うける。検査されたり、警官の目じるしになるのだからそんなことはやめといた方がいいと思うのだが、やっぱり自分の名をはっきり書きたいらしいが、ちょっと不思議な感じがする。あるいは他人のと間違つては困るとか紛失しても誰かあとで届けてくれるとも思つたのかもしれない。また、名前を書くような生真面目な学生だから、あとで検束されるような心配など毛頭ないのかもしれない。むしろ大きく、自分の名を明記しているところはヘルメットをかぶってデモをやる自分に大きい誇りと使命感を感じてのことだろうか。

そこへいくと中学生や高校の生徒は、入学した当座、誇らかに金色まばゆい校章をつけた白線帽をかぶっているところまことに凛々しくて、可愛

いいものがある。

夏の甲子園の高校野球の選手は最初の入場式で女生徒がささげる、それは馬印にもひとしい校名入りのプラカードのあとに従つて、場内を一周するあたり、全く意気軒昂、全く天を衝くかんがあるといったところである。

会社の新入社員は大威張りで会社のバッヂをつけている。だが日通のように、会社の幹部が不祥事件をひきおこしたのでは誇りをもってバッヂをつけて歩くわけにはいかないだろう。

同じように収賄事件があとをたたない国会議員でも、やはり世帯が大きいだけに俺だけは公正だと思つていいのか衆参議員バッヂをつけることは誰しも嬉しいものらしい。青島幸男、石原慎太郎参院議員でも新しい議員バッヂを胸につけて、テレビの画面で随分嬉しそうだった。いつまでもそうあつてほしい。

旗は旗でも天気予報の旗は別もののようだが、やはり、得意な時とはずかしそうに見える時がある。晴は白、雨は青、曇は赤で、雪は緑だったと思うが、晴れの予報が出ているのに雨が降っているのではどうにもならない。

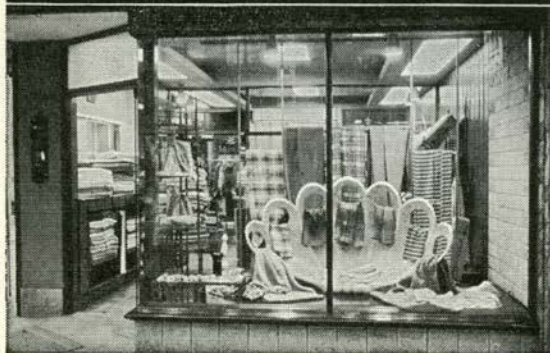
わたしはいま六甲に住んでいるが近所に「旗あげ坊や」がいる。本名は北村正之君、まだ幼稚園へいっているが、一昨年の春にはおばあさんの手造りの七十センチぐらいのミニ鯉轡を二尾も三尾も竹竿の先へかかっていた。それがいつの間にか小さい日の丸に変つた。近ごろではさらに進歩して毎日の気象旗をかかげるようになった。旗もバッヂも同じことだとなると、大人になると青島議員のようにならぬとは限らない。人間大いに旗印をかかげたいものである。



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689



秋のあなたを飾る
マキシンのシャポー



マキシンの帽子のおもめは
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2

TEL (078) 33-6711-3 TEL (03) 535-5041

*世界で最も名誉
ある時計ロジン



特約店

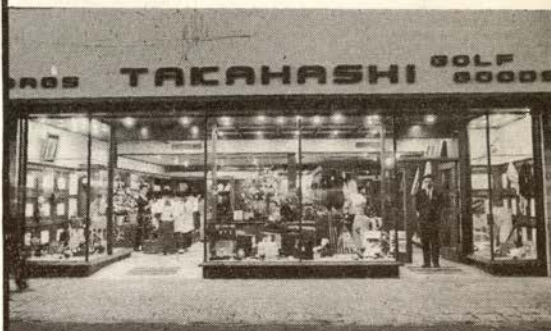


美和時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

KOBEセンスを生かした
信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No.1のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。



バッグとゴルフ用品の店

タカハシ

神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782

☆技術ジャーナル

三つの「X」

Ⅱ 国産機開発計画Ⅱ

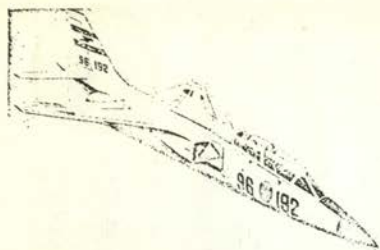
諸岡博熊

△神戸市企画調査部副主幹▽

YS-11は日本の国産民間輸送機として好評を博しアメリカのビートモント航空が二〇機も一括購入するのをはじめ、売却済は七月末で一三五機に達し、将来は二〇〇機以上になる見通しである。すでに生産台数は七〇機目にはいつている

× × ×

次期の航空機として、三つの「X」機開発計画を控え、日本の航空工業界は苦しんでいる。それはF・XとT・Xが外国製品を導入してライセンス生産を行なう、C・XとY・Xは最初から国内開発として通産省の大型プロジェクトにのせようとしているからだ。



T-X はこんな形が予想される

ここに、C・Xとは三次防衛輸送機で四七年から量産予定し、T・Xとは三次防衛練習機で四八年から量産に入る予定である。これは、次期主力戦闘機F・



C-X はこんな形が考えられている

Xの練習用としての音速の二倍以上の速度をもつもので、純国産の実戦機としても使用可能である。F・Xといえば外国機のライセンス生産をつづけてきたわが国にとってT・X開発の意義は非常に大きいといえる

× × ×

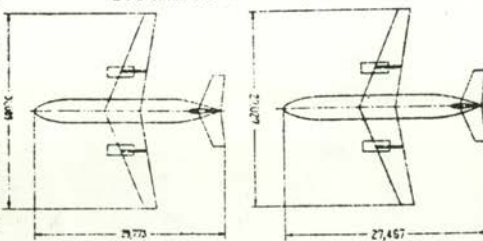
防衛庁が一九六六年から研究開発を続けてきた中型ジェット輸送機C・Xは老朽化しつつある現用のC・46輸送機の代替である。ところが、軍用輸送機には他の一般の輸送機に比べ独得の能力と性能が要求されて、使用側の方針の確立

と製造者側の技術の向上が何よりの解決策といわれるべきしい条件とは、たとえば、物糧の空中投下とか、貨物のごく短時間の積み下ろし、空挺隊の輸送のための貨物室の与圧、防弾装備不整地への発着に対する特殊の着陸装置、さらには他の機種への転用など実に必要な範囲が複雑多岐にわたっている。

× × ×

Y・X機は以上の二つの「X」とは異なり通産省が中心となって開発を進めて

電子計算機が画いた Y-X の基本型 2 例



いる九〇人乗りの中距離ジェット機で、開発費は約一六〇億円見当。半額を政府

出資としても残り八〇億円は航空機メーカー（三菱重工、川崎航空機、富士重工日本飛行機）が負担する。YS-11のとき総開発費五八億円のうち民間側が負担したのは二五億円であるか

ら、いかに巨額であるかわかる。

現在の計画では、四三年に基本設計、四四年より細部設計、治具・工具の製作ならびに材料・部品の手配および入手、部品の製作、四五年年度試作一号、二号機テスト用01号機の組立て開始、01号機のテスト開始、四六年度初飛行、飛行試験開始、02号機疲労テスト開始、四八年度飛行テスト、試作完了、生産開始という段階である。

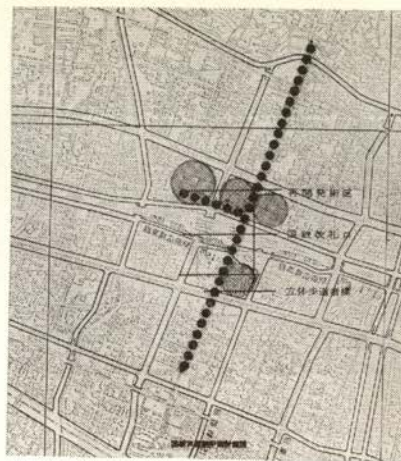
四二年末にOR調査の中間的結論として、乗客七五〇人、航続距離四〇〇〇八〇〇哩、最大巡航速度四五〇ノット（マッハ数〇・八程度）、必要滑走路長一、二〇〇メートル、全長約三六メートル、最大離陸重量六八〇〇キログラム、エンジンは一、九七〇年代に実用化される効率の高いバイパス比三・〇程度のターボファン・エンジンといった概略の要目・性能を持った中・短距離用機の姿が浮かび上っている。しかし、民間機である限り、YS-11のように世界航空界の盲点についてブームを呼ぶような日本の技術者が軍用機の経験のないため、YS-11のときも一五〇か所近い設計変更をアメリカから要求された。この経験を生かしてY・Xでは安く使いやすい飛行機が製造されねばなら

神戸のアーバンデザイン ② 住宅地の駅前市街地

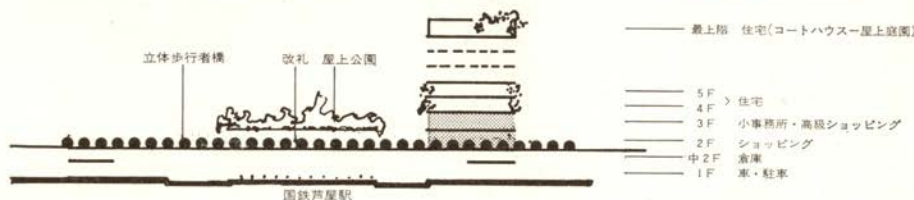
水谷頼介＋チーム・UR



芦屋駅より北側を見る



国鉄芦屋駅付近平面計画図



▲ 国鉄芦屋駅付近・立面計画図

★静かな郊外住宅地だった頃の駅前とは違って、賑やかな国鉄芦屋駅前になってきました。庭をもったお屋敷が高層のマンションなどに建て変って、多様な都市生活のための高密度な市街地住宅の街に展開してきたからでしょう。しかし、賑わいに比例して、街が混雑してきたことも事実です。自動車がいずれ使われなかったところになった駅前広場ですから、こうバスやタクシーが増えてくると、人間の歩く場所にも困ります。海岸の埋立地やら、山の奥地に、駅から遠く離れた住宅地ができて、奥さんに家用車で駅まで送ってきてもらっても（キス・アンド・ドライブ）車をとめる場所もありません。

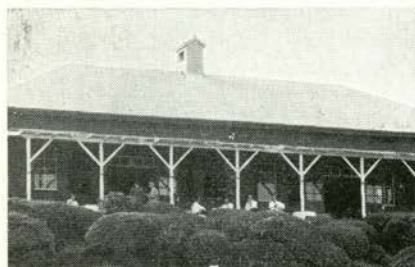
駅前広場を囲む街の整備計画が必要です。土地がないのですから立体化による高度利用は止むをえません。一階は車のスペース。二階に人間のための広場とショッピング、この階は国鉄の駅の改札のための南北をつらぬく歩行者人工土地床にそろえます。三階・四階に小事務所、高級店舗、医者など中二階に倉庫、五階以上は住宅、という積層構造でどうでしょうか。まず、建物と運営組織がまとまっている市場の部分から着手して新しい駅前づくりへ向って、周囲をリードしたらどうでしょう。

集いと談笑
クラブハウスの機能
神戸のモダンリビング

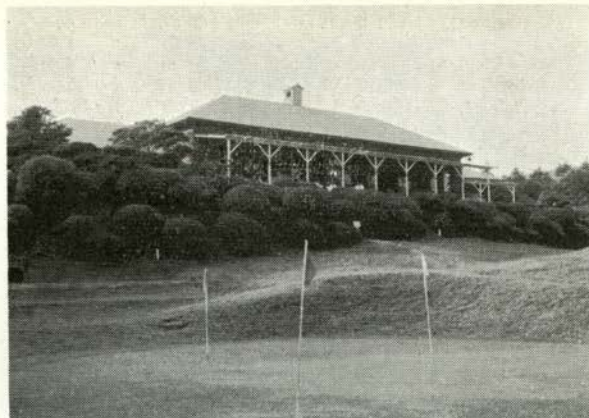
(20)

水谷順介＋チーム・UR

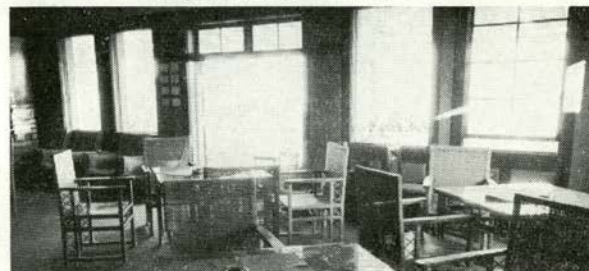
クラブ・ハウス平面図



▲ 南よりテラスを見る



▲ 緑に囲まれた赤いクラブハウス



▲ 食堂・休憩室

★六甲山上に今日のにぎわいをもたらすきっかけをつくったのは、明治二十六年頃夏の六甲住まいをはじめたイギリス人A・H・グールド氏です。明治三十四年には居留地の外人達によってゴルフが始められ、三十六年日本で最初世界国別で八番目のゴルフクラブが組織されました。これが、神戸ゴルフクラブのはじまりです。

この歴史あるクラブの現在のクラブハウスは、昭和七年に関西学院や神戸女学院のミッション・スクールも手がけたアメリカの宣教師・建築家のボリス氏の設計によるものだそうです。

住宅でいえば、居間にあたるロビーが、このクラブハウスの中心です。なだらかなグリーンを見おろすように開放されているロビーと、それに続くレンガ敷のテラスは、人々の談笑の場です。籐でつくられたロビーの家具は、古びて変色しながらもカクシヤクとしています。バーの背高いカウンタ―は、木肌が使いこまれて油びかりしています。この室内の居心地のよさの中には、昨日今日では得られないものがいっぱいあります。また、それを大切に思う人々の集まるところがこのリビングルームなのです。

(高月昭子)

経済ポケット ジャーナル

出光興産、県姫路市が 公害防止で協定

出光興産が姫路市飾磨区妻鹿地先に計画している姫路製油所建設にともなう公害、災害の防止をうたった県、姫路市、出光興産三者による協定、覚え書きがまとまった。

協定には昨年県公害審議会が県、出光側に、数十項目の条件、注文をつけて答申した線に沿って「石油コンビナート」を計画しない。大気汚染を悪化させるおそれのあるときは県、市当局の要請で直ちに一％以下の低硫黄重油を使う「などを明記、主要協定のほかに三十四項目にわたる実施細目（覚え書き）を決めている。製油所立地に当たりこのような厳格な協定がかわされるのは初めて。同製油所の建設は近く通産省の石油審議会が最優先して認められる見通しだが、数年来地元家島の漁協を中心に根強い反対があるため今後の成り行きが注目される。



もな内容は次の通り。

一、会社は県、市が行なう公害、事故発生防止の措置、公共事業の実施に協力する。主要施設や公害防止施設に変化を加えるときは事前に県、市と協議する。石油コンビナートは計画しない。

一、公害、事故が発生したときは損害を賠償し、下請け企業にも公害防止の指導を行ない、下請け企業の責任による事故も会社が誠意をもって解決する。

一、自家燃料は硫黄分二％の重油を使い、大気汚染悪化のおそれあるときは直ちに一％以下の低サルファ重油に切り替える。煙突の高さは百二十センチ以上の集合型とする。

EECで豊岡かばん の見本市

兵庫県の代表的特産「豊岡のビニールかばん」が西ドイツ・ハンブルグのジャパン・トレードセンターで九月二日から五日間、欧州初の見本市を開く。金井知

事はじめ産地メーカー代表が開場式に出席する。豊岡のかばんは、ことし四十億円の輸出を見込んでいるがその八〇％が米国向け。韓国、台湾、香港など後進国の追いあげもあって、対米一辺倒の危険な輸出構造から抜け出し、EEC市場の開拓を図りたいところ。現地では有力小売り店、バイヤー、デパート関係者三百人余を招待して意見を聞き、即時商談も進める。

はまちビル建設めざす 県かん水養殖漁協

年間十五億円もの商いをしながら経済活動をしていなかった「兵庫県かん水養殖漁業協同組合」（小林松右衛門理事長、組合員二十人）が、県水産課の指導で本年度の放養はまちから一尾につき一〜十円天引き積み立てし、はまちビルの建設や人工飼料の共同購入、

養殖技術の向上に取り組むことになった。

同協組の事務は県信用漁協連合会に委嘱したまま事務所も職員も持たない。県下には業者は少ないが全国屈指のはまち養殖県で、年間三百五十万尾を水揚げし、組合員の動かすカネははまちで十億円、飼料が五億円にのぼる。「これだけの勢力を持ちながら経済活動ゼロというのはもったいない」と、県水産課が協組の指導に乗り出し、天引き積み立てで資金をプール、共同事業を始めることになったもの。

協組ではとりあえず三千万円を積み立て、本拠地のはまちビルを神戸市内に建て、まだ普及してない人工飼料の共同購入、越年用の陸上水そうも建設、できれば神戸や大阪のスーパー、生協と結び「はまち直売所」まで設けた意向。

KOBE オフィスレディ

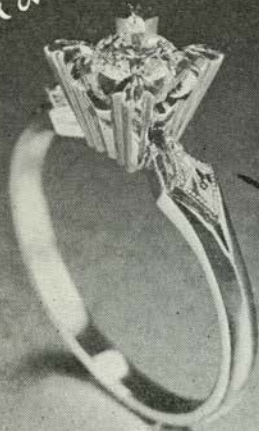


浅山紀代子さん (20)

大日通運業務第三課タイプ係

神戸生まれの神戸育ち。ものごとに執着しない楽天的な性格、船に乗って遠くへ行きたいという神戸っ子の典型のようなお嬢さん。ある土曜日の昼下がり、ランチにのってここよい潮風にあたる紀代子さん。県立神戸商高出身 須磨在住。

Nakaniwa



宝石
貴金属
時計

梅田阪急前店オープン

仲庭

さんちかタウン (39) 4 5 9 3
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
梅田阪急前(御堂筋東側)
(313) 0512代表
桜橋 毎日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話3 3-8836 (代)

東店/三宮センター街・電話3 3-0629

三宮店/さんちかタウン・電話3 9-4303

東京

銀座北店/銀座並木通り・電話573-5298 (代)

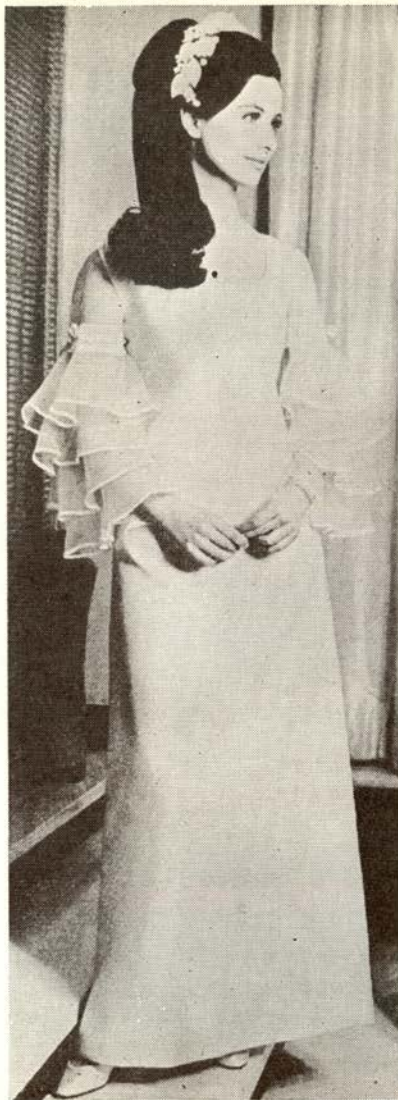
銀座南店/銀座並木通り・電話572-4847

渋谷店/東急本店・電話462-3409 (直)

日本橋店/東急日本橋店・電話211-0511 (代)

(4 階和装名店街)

(内線294)



神戸っ子のセンスを生かす
*服飾 **KEI** の店

神戸・大丸前 服部宝生眼鏡店2F
大阪・堂島船大工町 日昭ビル1F
(344) (33)
6 3 1 2 3
7 5 5 0



♡ランチェリー♡フラウス♡セーター♡ワンピース♡スーツ

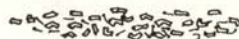
Guya

スギヤ

トア・ロード市電大丸電停前
TEL (33) 3 4 3 6
六甲店・阪急六甲駅
TEL (87) 2 7 3 1(呼)



6



岡
田
淳

JEAN

CINEMA

<27>

このところめまぐるしく登場しはじめた 新人監督と新人俳優のこと

淀川長治
映画評論家

むかしは監督も俳優も七年契約または五年契約というものがあった。それでその間の五年なり七年をその会社はその新人を大いに派手に宣伝して売りこんだものである。

ところが近年では独立プロが盛んになったことと併せ監督やスタアの給料がべらぼうに高くなったので五年契約中に万が一そのスタアや監督の人氣が落ちたときの損失は馬鹿にならない。しかも最近のように作品第一主義となると主演者も監督もそのつどその作品に適した人たちを集めた方が巧くゆく。というわけでスタア第一時代は消失し、リズ・テイラーやオードリー・ヘップバーンやソフィア・ローレンやジュリー・アンドリュースあたり以外はもはや新人の方が逆に観客をひきつけるし、映画会社もその新人ゆえの新鮮さを宣伝する。そしてその契約期間も短かい。

そこで「暗くなるまで待つて」の殺し屋スタイルのラン・アーキン。「俺たちに明日はない」のアーサー・ペン監督とフエイ・ダナウェイ。「昼顔」「めざめ」のピエール・クレマンティ。「卒業」のマイク・ニコルズ監督とあの主人公の青年に扮したダスティン・ホフマン、「青春の海」のアレン・H・マイナー監督とクリストファー・ジョーンズ、「血と怒りの河」のシルビオ・ナリッツァーノ監督とテレンス・スタンブ、「魚が出てきた日」のミカエル・カコヤニス監督とキャンデイス・バーゲン、「未青年」のピエール・グラニエ・ドフェール監督とジャック・ペランとエバ・レンツィ、「風はひとりぼっち」のジョゼ・バレラ監督とジャン・ピエール・カ

ルフォン、「遙かなる戦場」のデビッド・ヘミングス。「しのび逢い」のケビン・ビルングトン監督とオスカー・ウェルナー、バーバラ・フェリス、「若い狼たち」のハイディ・ポリトフとクリスチャン・エー。「ペルーの鳥」のあの作家のロマン・ギャリー監督そして「風はひとりぼっち」にも出演のこの映画のカルフォン。

これらの名を並べたところで殆んどお馴染みではあるまい。そこでこれから成功株を拾うとアーサー・ペン監督は言うまでもなくマイク・ニコルズ監督、シルビオ・ナリッツァーノ監督、ミカエル・カコヤニス監督などはもはや第一級、新人俳優ではピエール・クレマンティとダスティン・ホフマンそして風変わりなタイプでジャン・ピエール・カルフォンが芽を出すであろうし、フエイ・ダナウェイ、テレンス・スタンブ、オスカー・ウェルナー、キャンデイス・バーゲンなどはもはやスタアとして第一級の地位に置かれている。

それで目下最も多忙はフエイ・ダナウェイで、彼女はカルロ・ポンチ製作、ビットリオ・デ・シーカ監督の「恋人たち」にマストロヤンニと共演のあとアーサー・ミラー原作の「転落の後に」にマリリン・モンローをモデルにしたその主役を演じることになっている。

「コレクター」一本で売り出したあのテレンス・スタンブは近くフェデリコ・フェリーニ監督のキリスト教以前の南イタリアの同性愛の三人の男を描いた「サテュリコン」に主演する。共演がダニイ・ケイ、ピエール・クレマンティというのも面白い。同性愛といえは二十世紀フォックスがその舞台の映画化権を買った「階段」

はその主人公の理髪師二人のホモ・ドラマで、映画のその主役がリチャード・バートンとレックス・ハリソンとは恐ろしい。

「めざめ」のピエール・クレマンティは「昼顔」のチンピラやくざ。その役の「サチュリコン」のあとがピットリオ・カプリオリ監督の「ねえ、愛を語りましょう」その共演が名女優のエドウィー・フィエルとクロアディヌ・オージェというのも面白い。

「遙かなる戦場」のデビッド・ヘミングスは「キャメロット」にも出ていたが彼は少年のころはオペラ歌手を夢んでいたそうである。その「遙かなる戦場」と「キャメロット」のパネッサ・レッドグレイブは近くシドニー・ルメット監督のもとにチエホフの「かもめ」にジェイ

俺たちに明日はない★
ウオーレン・ビーティ・フイダナウエイ



青春の海★
クリストファー・ジョーンズ



卒業★ダスティン・ホフマン/キャサリン・ロス



血と怒りの河
テレンス・スタンプ



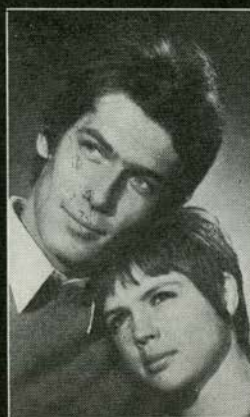
風もひとりぼっち
ジャン・ピエール・カルフォン



遙かなる戦場★
パネッサ・レッドグレイブ/デビッド・ヘミングス



めざめ★ピエール・クレマンティ
/カトリヌ・ドヌー



若い狼たち★
ハイデー・ポリトフ
クリスチャン・エー

ムス・メイソンとシモーヌ・シニョーレと共演する。新人といえばあの「家族日誌」、「ロシユフォールの恋人たち」のジャック・ペランはギリシャの自由党議員暗殺事件をあつかった「Z」にイヴ・モンタン、ジャン・ルイ・トランティニアンと共演したあとルイス・パウエルスの小説「奇怪な愛」の映画化権を買いとり、なんとまあ自分で監督をもするという。

映画ファンというのは、実にこのような製作ニュースというものが楽しいものである。それも新人のめざましい活躍にはなによりも注目するものである。

映画ファンとは可愛いものである。そしてかくいう私も実はその一人。

神戸遊戯誌 61

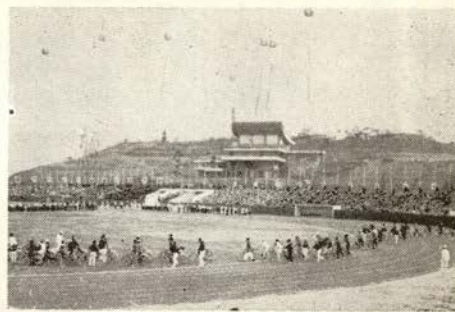
★初期は貸し自転車大繁盛

自転車は、十八世紀末木馬の足に木製の車輪をつけて
またがり、両足で地面をけて進むことから始められた
もので、当初はまっすぐしか進めなかったが、やがて方
向の操縦ができるようになり、さらに一八三九年ごろに
なると足が地面を離れるようになった。しかし現在の自
転車の母型となった、ペダルの回転とギヤ、チェーンの

ついたものは、これから五十年後になってようやく現わ
れたものである。

ところで、わが国へ自転車が入入されたのは一八八一
年(明治14)で、アメリカからだったが、明治三十年代
になると、女子大の運動会にも登場するほどの流行をき
たした。当時の「読売新聞」に連載された小杉天外の「魔
風悪風」の第一回のさし絵にもリボン、ハカマ姿の女子
大生の自転車にさっそうと乗った姿が描かれている。そ

写真下は、昭和42年、379人に乗せたサ
イクリング列車。京都一相生一坂越一赤
穂とサイクリングしての帰路である。
写真右は、姫路野球場で行なわれた第1
回兵庫県中央県民ラリー。



写真上は、昭和42年、第9回西日本サイクリング
ラリーに参加した兵庫県勢。



北田一夫氏
(県体育課指導主事)



常松 喬氏
(県青少年局長 県サ
イクリング協会副会長)



田中 裕氏
(県サイクリング協会
常務理事)



西尾奈良太郎氏
(県サイクリング協会
常務理事)

サイクリング (1) 青木重雄

して、急速に全国的にひろまり、やがて大正の初めにかけて盛んに自転車競技が行われるようになった。だが、これらのレースはアマチュアながら当時の内外メーカーの自転車販売上の宣伝に利用されていたうえ、スポーツの団体としての機能を發揮するような方法も組織も結成されていなかった。ところが、大正四年、第二回極東選手権大会が上海で開かれた時、わが国から代表として藤原正章選手が参加、十五マイルに50分13秒で優勝した。ついで第三回大会が大正六年に東京芝浦で開かれ、二十マイルで池田清次郎選手が1時間2分52秒で優勝、前記藤原選手は二着となった。こうして日本人の国際的実力が自認されるようになったわけだが、国際的レースにはその後出場の場合にあまり恵まれなかった。だからサイクリング競技に関する団体としては明治四十一年に選手だけで結成された東京輪士会があったぐらいのもので、近代アマチュア・スポーツとしての発達は昭和九年十二月日本サイクル競技連盟が組織されてからのことである。この団体結成の動機となったのは、昭和六年開かれた、毎日新聞社主催の西日本府県対抗サイクル・チーム・レースで、鹿児島―大阪間一千キロを走破するもので、自転車が高橋にスポーツとしてクロース・アップされたものだった。翌年第二回同大会が甲子園で開かれると、各府県に自転車の団体結成の気運が動き、まず大阪、兵庫京都、名古屋の四つの団体が相寄って前記の日本サイクル競技連盟が生まれた。その後パリで開かれたUCI総会で同連盟はさらに自転車競技会の統制団体として加盟を認められ、こうして戦後へ、つづいて現代へかけて日本の自転車競技は順調な向上をつづけているわけだが、ここではサイクリング・レースの方にはあまり触れず、主としてレクリエーション用としてのサイクリングについて述べてみたい。

現代では自転車は昔からのように荷物を運搬するための商用や通学、通勤用などのほかレクリエーションに用

いられているが、明治、大正初期はもっぱら上流社会の遊び道具としてだった。というのは値段がバカ高く、とても庶民は買えなかったからである。なんでも大正はじめ日本製自転車は二八〇円もしたもので、今の自動車よりもはるかに割り高の貴重品だった。だから買えない連中は当時で始めた貸し自転車で借りて練習したものだが、一日の借り料が五十銭、当時おとなが一日働いて三十銭ほどの収入だったのだから全く大散財だった。それでも借り手が多く、順番を待ってやっと自転車のハンドルを握らせてもらえるの一日かかることもあった。聚楽館横の「土手」(現在の新開地本通り)で貸し自転車で練習する人の姿がよく見られた。

その後自転車の遠乗り会が愛用家たちの間で各地で試みられるようになった。なかでも神戸からは出雲大社や伊勢まいりがよく行なわれた。今日のように道路がほとんどアスファルトではなかったが、自動車が数えるほどしかなかったので途中はじつに快適な旅行だった。またその頃神戸から山陽の七福神まいり自転車旅行も行なわれたが、午前四時に握り飯を持って兵庫をスタートしてまず長田神社へ参拝、それから明石の人丸神社、高砂、曾根、姫路の各神社へまいて夕方ごろ神戸へ帰って来た十一時間ほどのツアーだったが、当時はまだ自転車の遠乗り会は珍しかったので途中一行は意気揚々だった―と、その一人西尾奈良太郎氏(兵庫県サイクリング協会常務理事)は思い出を語っている。こうした神戸の遠乗り会は昭和十年頃までつづいて行なわれた。使用自転車はおもに4分の1タイヤ・サイズだった(普通は8分の3タイヤサイズ)。なお、前にも書いたが、一方ではスポンサーつきのセミ・プロレースのようなものも行なわれていた。大正四、五年から七、八年頃までつづいて行なわれた須磨大池レースがとりわけ世人の目を引いていた。ダンロップ所屬の選手が背中にマークをつけて大池を何回か力走するレースだったが、観光地須磨の呼び物の一つになっていた。

(四三・八・二五記)